



中学生がオーストラリアで国際交流しました 令和元年度 行方市中学生海外派遣研修

行方市中学生海外派遣研修事業は、未来を担う中学生を海外に派遣し、その国の文化、風俗、風習等に触れ、国際感覚を養うとともに、広い視野から郷土や国家・国際社会に対する理解を深めることを目的に実施しています。本年度は、7月31日(水)から8月8日(木)までの9日間、オーストラリア・ビクトリア州・メルボルン市へ本市の中学生17人を派遣。生徒たちは、言葉や文化の違う外国の地で、現地の学校訪問やホームステイ、市内散策等、研修に精一杯取り組みました。

研修スケジュール

- 7月31日(水) 北浦庁舎で出発式の後、成田空港からメルボルンへ
- 8月1日(木) メルボルン市内研修① (パフフィンビリー鉄道乗車体験、移民博物館、ユーレカタワー)
- 8月2日(金) 研修・各種交流プログラム実施 (ドロマーナカレッジ)
- 8月2日(金) ~8月6日(火) ホームステイし、ホストファミリーと過ごす
- 8月5日(月) 研修・各種交流プログラム実施 (ドロマーナカレッジ)
- 8月6日(火) 研修・各種交流プログラム実施 (レッドヒル小・ドロマーナ小)
- 8月7日(水) 修了証授与式・お別れパーティー (ドロマーナカレッジ)
メルボルン市内研修② (聖パトリック大聖堂、州立図書館)
- 8月8日(木) 帰国。成田空港着後、北浦庁舎で解団式



現地校での生活

本年度の訪問校は、メルボルン市にある「ドロマーナカレッジ」。教育環境が良いとして、現地でも評判の学校です。本市の生徒たちは、訪問プログラムに沿い、現地校で学校生活を送りました。現地の学生と同じ授業への参加や、オーストラリアのことを学ぶ体験型授業への参加、そして、休み時間やランチタイム等、現地の学校生活を体験しました。

授業の説明や、現地の学生とのやり取りには英語が使われました。生徒たちはボディーランゲージを交えながら、現地の学生と積極的にコミュニケーションを図る様子が見受けられました。

また今回は、近隣にあり、市内の小中学校と交流のある「ドロマーナ小学校」および「レッドヒル小学校」にも訪問し、親睦を深めました。



▲ドロマーナカレッジにて。参加者17人全員集合！



▲美術の授業では、オーストラリア先住民の「アボリジナル・アート」を体験

ホームステイ（宿泊体験）

生徒たちは、現地校の生徒のお宅において、5日間のホームステイを体験。家族の一員としてホストファミリーに迎えられ、現地での生活そのものを体験し、生きた英語やオーストラリアの生活文化を学びました。

休日にはホストファミリーと一緒に出掛けるなど、楽しい時間を過ごし、現地の方々の温かみにも触れる機会となりました。



メルボルン市内研修

イギリス風の歴史的建造物と現代的なビルが一緒に並ぶ、美しい街並みのメルボルン市。移民都市・多国籍文化の街としても有名で、さまざまな国の人々や文化が共生しています。

生徒たちは移民博物館や歴史的な教会などを訪問し、オーストラリアの歴史や伝統文化、生活を学びました。



▲パッフィンビリー鉄道（左）
フリンダースストリート駅（右）



◀ランチには、オーストラリアサイズのフィッシュ&チップス。みな完食です！



▲セントパトリック大聖堂

日本を伝える

生徒たちは英語使用の環境の中で、現地校で日本語科の授業に参加し、現地の学生と協同して学習に取り組みました。

また、日本の昔遊び等について発表を行い、現地の学生に実際に体験してもらうなど、日本の言葉や文化を伝える機会になりました。



◀持参した浴衣で着付け体験をしたり、自作のかるたや福笑いと一緒に遊びました



お別れと再会の約束

研修では、たくさんのお別れがありましたが、一緒に過ごした現地校の学生や教職員の方々、ホストファミリーとのお別れの日には、現地校で修了証の授与式と併せて、お別れパーティーが開催されました。帰国の際には互いに別れを惜しみ合い、再会を約束しました。



研修を通して

海外での研修を通じ、生徒たちはそれぞれたくさん学びの経験をし、たくましく成長した姿で帰ってきました。異国の文化や、話す言葉の違う人々とのふれ合いの中で学んだことは、今後の糧となることでしょう。

グローバル化の進む現代社会を生きる子どもたちのこれからの活躍が期待されます。

問い合わせ

学校教育課（北浦庁舎）
☎ 0291（35）2111